

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DK153／メディア・コミュニケーション論 (Media Communications)		
担当者名 (Instructor)	木村 忠正(KIMURA TADAMASA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

メディア・コミュニケーションが歴史的にどのように展開してきたか、そして、現代社会において、私たちの生活にいかに深く組み込まれているのかを、人文社会科学の多角的視点からアプローチし、ヒトと社会にとってきわめて重要な役割を果たしているメディアとコミュニケーションについての理解を深め、メディア・コミュニケーションという観点から現代社会のあり方を批判的に理解する力を醸成することを目標とする。

This lecture guides students to learn how media communication has historically been developed and how deeply it is embedded in our lives in modern society from the multifaceted viewpoint of humanities and social sciences. Its aim is to make students deepen their understanding the historical development and socio-cultural significance of media and communication in human society and to foster the ability to critically understand the way of modern society from the viewpoint of media communication.

授業の内容(Course Contents)

ヒトは、コミュニケーション(情報伝達・意思疎通)を行う際に、多種多様な「シンボル(象徴)」と「メディア」を生み出し、利用してきた。紙、印刷物、音楽メディア、映像メディア、スマホ、ネットなど、メディアは歴史とともに多層的、複合的に展開し、社会への影響はきわめて大きい。そこで、本授業では、メディア・コミュニケーションが歴史的にどのように展開してきたか、そして、現代社会において、私たちの生活にいかに深く組み込まれているのかを、人文社会科学の多角的視点からアプローチする。とくに、現代社会では、SNSなどのソーシャルメディアをはじめ、多くのコミュニケーションがコンピュータネットワークメディアを媒介するものとなってきていること、メディアを媒介とした人々の活動が織りなす社会的現実<リアリティ>が持つ意味に着目し、社会的関係性、社会的アイデンティティ、国民国家などの形成に関する分析と理解を深めたい。

This lecture guides students to learn how media communication has historically been developed and how deeply it is embedded in our lives in modern society from the multifaceted viewpoint of humanities and social sciences. In particular, in our contemporary society, more and more communications are mediated by means of computers, i.e., computer-mediated communications, such as social media, e.g., SNS. In addition, our activities via media constitutes the social reality more and more substantially. This lecture pays careful attention to these societal changes with the expansion of network society and explores their significance to lead your deepening understanding on the formation of social relationships, social identity, nation-states, etc.

授業計画(Course Schedule)

1. コミュニケーションとメディア
2. メディア・コミュニケーション研究の地平
3. コミュニケーションメディアの発展と歴史社会的背景(1)～活字メディア
4. コミュニケーションメディアの発展と歴史社会的背景(2)～アナログ電子メディア
5. デジタルメディアによるコミュニケーションの変革
6. CMC(コンピュータ媒介コミュニケーション)の構造的特質
7. CMCによる社会的現実の構成・自己の変容
8. マスメディア構造変容とネットメディア
9. ガバメントとガバナンス～ネットワーク型社会への期待～
10. 「つながり」の持つ力～社会的ネットワーク～
11. ヒト・モノ・AI～CMCがもたらす社会・コミュニケーションの変革～
12. ネット世論～ネットワーク社会における政治的言説の形成～
13. デジタルネイティブの時代～技術の展開とライフサイクル～
14. デジタルネイティブの時代～メディア・コミュニケーション空間の構造と変容～

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

講義資料を、事前に授業支援システム(Blackboard)にアップします。資料を必ずダウンロードし、閲覧の上、授業に持参してください。また、授業内容を振り返るリアクションと情報メディア利用に関するアンケートを複数回、Google-formで実施する予定です。詳細は、Blackboardで知らせますから、Blackboardへの定期的なアクセス、SPIRITメールの定期的確認を怠らないようにしてください。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%)/オンライン課題(G-form、複数回を予定)への回答(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. 木村忠正、2012、『デジタルネイティブの時代』、平凡社 (ISBN:4582856608)
2. 木村忠正、2018、『ハイブリッド・エスノグラフィー』、新曜社 (ISBN:4788515830)
3. 北村智他、2016、『ツイッターの心理学』、誠信書房 (ISBN:4414300088)

授業内で参考資料、参考文献を示す。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

科目担当者のHPも参照すること。

URL: <http://www2.rikkyo.ac.jp/web/tdms/hpj.html>

注意事項(Notice)